

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和5年10月施行）

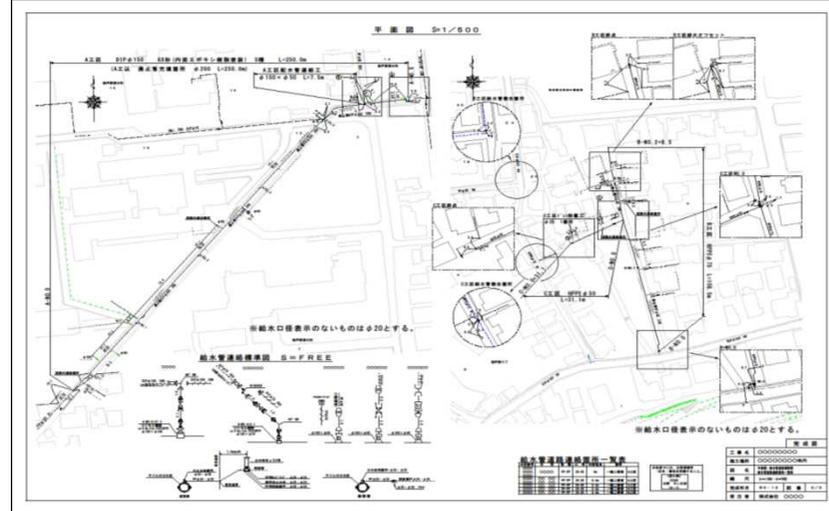
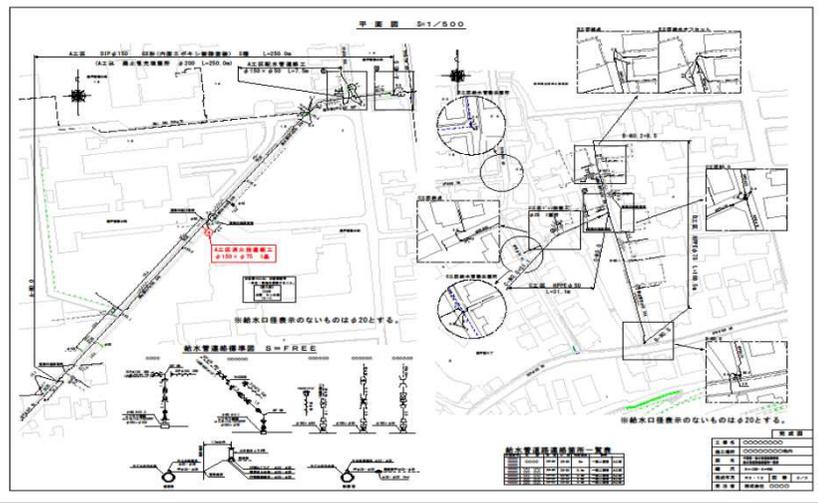
	改訂案	現行
	ページ番号の訂正	
P1	9 交通管理(保安施設設置計画・過積載による違法運行の防止)	9 交通管理(保安施設設置計画・過積載による違法運行の防止・ダンプトラック車検証・自重計適合書)
P2	1.1 安全衛生管理組織図	
	※現場内の労働者が50人以上になる場合は、労働安全衛生法に基づき組織図を構成すること	※現場内の労働者が50人以上になる場合は、労働安全衛生法に基づき組織図を構成すること。
	1.4 その他(添付書類) (19) 施工体系図写し(追加)	
P3	施工計画書作成時の留意事項 3 現場組織表 (2) 協力業者(土工・不排水・舗装切断・充填・舗装・材料等)が記載されているか。	(2) 協力業者(土工・舗装・材料)が記載されているか。
P6	2 完成図作成要領 4 表示方法 (8) ウ 道路横断面図 エ 路面復旧断面図	ウ 横断面 エ 掘削・路面復旧標準断面図
P8	6 道路横断面図(追加)	

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和5年10月施行）

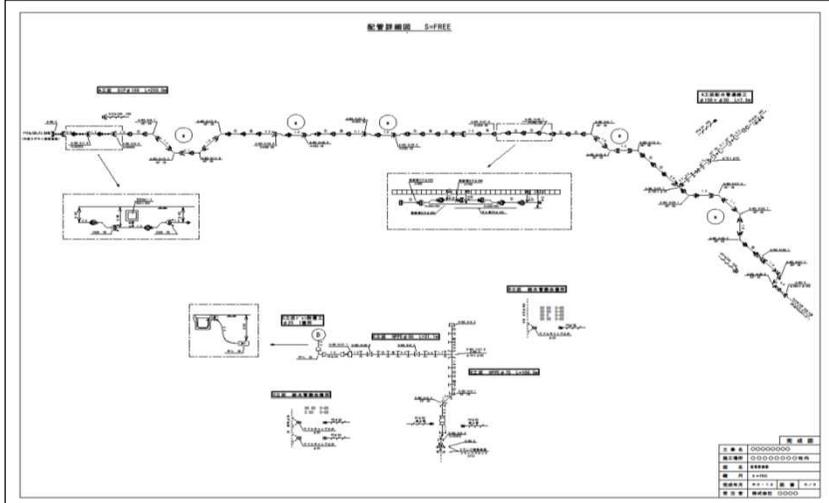
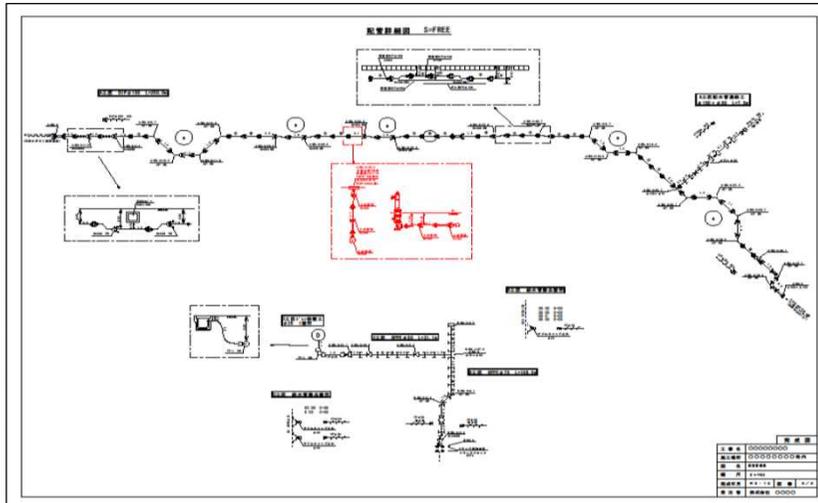
改訂案

現行

P10 消火栓連絡工の追記



P11







配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和5年10月施行）

	改訂案	現行
P30	弁室等の築造工・その他の構造物築造工標準図 参考図	弁室等の築造工・その他の構造物築造工標準図 参考図
横断面図		
平面図		
P33	6 工事記録写真撮影要領 6 写真の整理 (8) 国、県、市の各道および法定外公共物の写真提出部数等については、それぞれの道路管理者の「道路占用許可」の条件等もあるため、監督員の指示に従うこと。	(8) 国、県、市の各道および農道等の写真提出部数等については、それぞれの道路管理者の「道路占用許可」の条件等もあるため、監督員の指示に従うこと。

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和5年10月施行）

改訂案				現行					
P41	施工区分	工種	撮影の対象	撮影箇所・回数	施工区分	工種	撮影の対象	撮影箇所・回数	
	管布設工	管布設工 (HPPE の場合)	①砂基礎施工状況 (基礎厚確認) ②明示テープ貼付状況 ③融着面切削状況 (切削面のマスキング含む) ④管融着面・ソケット内面清掃状況 ⑤クランプ設置状況 ⑥融着状況 (コントローラー設置状況含む) ⑦インジケータ確認状況 ⑧通電終了時刻、冷却終了時刻、日付記入状況 ⑨融着完了状況 (クランプ取り外し後状況) ⑩管据え付け状況 ⑪土被りおよび境界からの離れの出来形寸法の確認 ⑫管切断状況 (管切断寸法の確認) ⑬異形管布設状況 ⑭メカニカル継手接合状況 (インナー設置状況含む) ⑮仕切弁・弁きょう設置状況 ⑯既設管との連絡状況 ⑰他事業者所有管との近接状況 ⑱水圧試験状況 ⑳洗管状況 (ポリビッド等による)	①～⑩は管理測点ごと (1箇所/100m) ⑪は管理測点ごと (1箇所/50m) ⑫～⑱は実施箇所ごと	管布設工	管布設工 (HPPE の場合)	①砂基礎施工状況 (基礎厚確認) ②明示テープ貼付状況 ③融着面切削状況 (切削面のマスキング含む) ④管融着面・ソケット内面清掃状況 ⑤クランプ設置状況 ⑥融着状況 (コントローラー設置状況含む) ⑦インジケータ確認状況 ⑧通電終了時刻、冷却終了時刻、日付記入状況 ⑨融着完了状況 (クランプ取り外し後状況) ⑩管据え付け状況 ⑪土被りおよび境界からの離れの出来形寸法の確認 ⑫管切断状況 (管切断寸法の確認) ⑬異形管布設状況 ⑭メカニカル継手接合状況 (インナー設置状況含む) ⑮仕切弁・弁きょう設置状況 ⑯既設管との連絡状況 ⑰他事業者所有管との近接状況 ⑱水圧試験状況 ⑳洗管状況 (ポリビッド等による)	①～⑩は管理測点ごと (1箇所/100m) ⑪は管理測点ごと (1箇所/50m) ⑫～⑱は実施箇所ごと	
		埋戻工	埋戻状況 (埋戻材出来形寸法の確認)、埋設シートの敷設状況	管理測点ごと (1箇所/50m)		埋戻工	埋戻状況 (埋戻材出来形寸法の確認)、埋設シートの敷設状況	管理測点ごと (1箇所/50m)	
		路盤工	一層毎に敷均し・転圧状況 (厚さ確認)			路盤工	一層毎に敷均し・転圧状況 (厚さ確認)		
		舗装仮復旧工	仮舗装の厚さの確認	管理測点ごと (1箇所/100m)		舗装仮復旧工	仮舗装の厚さの確認	管理測点ごと (1箇所/100m)	
		管布設工	廃止管充填箇所	① 施工前袋数確認状況 ② 充填剤作成状況 ③ 比重値測定状況 ④ フロー値測定状況 ⑤ 施工後袋数確認状況 ⑥ 硬化後確認状況 (切断による確認)	実施箇所ごと	管布設工	廃止管充填箇所	① 施工前袋数確認状況 ② 充填剤作成状況 ③ 比重値測定状況 ④ フロー値測定状況 ⑤ 施工後袋数確認状況 ⑥ 硬化後確認状況 (切断による確認)	実施箇所ごと



配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和5年10月施行）

	改訂案	現行																																																
P43	<p>参考-6. 8</p> <p>目的 配水管整備工事等において、工事記録と工事完了後の出来形管理の資料とするため、工事記録写真の撮影および整理について、基本的な事項を定めるものである。なお、写真は下図内の番号順に並べて編集することを標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>着工前 No. ○</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>完 成 No. ○</td> </tr> <tr> <td>同 上 No. ○</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>同 上 No. ○</td> </tr> <tr> <td>保安施設設置工 安全対策 ○○状況</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>仮設施設設置工 ○○状況</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>No. ○ 試験掘工 ○○状況</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>舗装版処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)</td> </tr> <tr> <td>管布設工 洗管状況</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>残土処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)</td> </tr> <tr> <td>管布設工 水圧試験状況</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>材料保管状況確認 段階確認状況 (床掘・配管状況、 路盤密度、廃止管 充填等)</td> </tr> </table> <p>(1) 着工前と完成写真は、同じ撮影位置のものを左右に配置し対比できるように編集すること。また、着工前写真には管布設位置がわかるように赤線を入れること。</p> <p>(2) 各状況写真は、工事記録写真撮影一覧表による。</p> <p>(3) 舗装版処理工、残土処理工は、積み込み状況 → 運搬状況 → 処理場の状況（投棄場所が確認できるもの）各1回。</p> <p>(4) 試験掘工については、各施工箇所地下埋設物の埋設位置が確認できるものと掘削幅、延長、深さを撮影する。掘削から仮復旧までの一連の写真は1工事1箇所程度とする。 なお、工事写真帳への紙出力は省略できるものとする。</p>	着工前 No. ○	1	1	完 成 No. ○	同 上 No. ○	1	1	同 上 No. ○	保安施設設置工 安全対策 ○○状況	2	3	仮設施設設置工 ○○状況	No. ○ 試験掘工 ○○状況	4	7	舗装版処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)	管布設工 洗管状況	5	8	残土処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)	管布設工 水圧試験状況	6	9	材料保管状況確認 段階確認状況 (床掘・配管状況、 路盤密度、廃止管 充填等)	<p>参考-6. 8</p> <p>目的 配水管布設工事等において、工事記録と工事完了後の出来形管理の資料とするため、工事記録写真の撮影および整理について、基本的な事項を定めるものである。なお、写真は下図内の番号順に並べて編集することを標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>着工前 No. ○</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>完 成 No. ○</td> </tr> <tr> <td>同 上 No. ○</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>同 上 No. ○</td> </tr> <tr> <td>保安施設設置工 安全対策 ○○状況</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>仮設施設設置工 ○○状況</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>No. ○ 試験掘工 ○○状況</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>舗装版処理工 ○○状況</td> </tr> <tr> <td>管布設工 洗管状況</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>残土処理工 ○○状況</td> </tr> <tr> <td>管布設工 水圧試験状況</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>材料検査状況 段階確認状況 中間検査状況 完成検査状況</td> </tr> </table> <p>(1) 着工前と完成写真は、同じ撮影位置のものを左右に配置し対比できるように編集すること。また、着工前写真には管布設位置がわかるように赤線を入れること。</p> <p>(2) 各状況写真は、工事記録写真撮影一覧表による。</p> <p>(3) 舗装版処理工、残土処理工は、積み込み状況 → 運搬状況 → 処理場の状況（投棄場所が確認できるもの）各1回。</p> <p>(4) 試験掘工については、各施工箇所地下埋設物の埋設位置が確認できるものと掘削幅、延長、深さを撮影する。掘削から仮復旧までの一連の写真は1工事1箇所程度とする。</p>	着工前 No. ○	1	1	完 成 No. ○	同 上 No. ○	1	1	同 上 No. ○	保安施設設置工 安全対策 ○○状況	2	3	仮設施設設置工 ○○状況	No. ○ 試験掘工 ○○状況	4	7	舗装版処理工 ○○状況	管布設工 洗管状況	5	8	残土処理工 ○○状況	管布設工 水圧試験状況	6	9	材料検査状況 段階確認状況 中間検査状況 完成検査状況
着工前 No. ○	1	1	完 成 No. ○																																															
同 上 No. ○	1	1	同 上 No. ○																																															
保安施設設置工 安全対策 ○○状況	2	3	仮設施設設置工 ○○状況																																															
No. ○ 試験掘工 ○○状況	4	7	舗装版処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)																																															
管布設工 洗管状況	5	8	残土処理工 ○○状況 自重計の確認状況 (1日1回)																																															
管布設工 水圧試験状況	6	9	材料保管状況確認 段階確認状況 (床掘・配管状況、 路盤密度、廃止管 充填等)																																															
着工前 No. ○	1	1	完 成 No. ○																																															
同 上 No. ○	1	1	同 上 No. ○																																															
保安施設設置工 安全対策 ○○状況	2	3	仮設施設設置工 ○○状況																																															
No. ○ 試験掘工 ○○状況	4	7	舗装版処理工 ○○状況																																															
管布設工 洗管状況	5	8	残土処理工 ○○状況																																															
管布設工 水圧試験状況	6	9	材料検査状況 段階確認状況 中間検査状況 完成検査状況																																															

改訂案	現行																								
<p>P46</p> <table border="1"> <tr> <td>No. ○ 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○</td> <td>33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○</td> <td>34</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No. ○ 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	33		同上 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	34					<table border="1"> <tr> <td>No. ○ 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○</td> <td>33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○</td> <td>34</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No. ○ 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	33		同上 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	34										
No. ○ 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	33																								
同上 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	34																								
No. ○ 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	33																								
同上 舗装工 舗装厚確認 設計値 ○=○○ 実測値 ○=○○	34																								
<p>※ 管布設工と舗装工は、工区分けし、管理測点毎にNo.10～No.34 までを1つにまとめて整理する。 ただし、監督員が整理方法を別に指示する場合は、その指示に従うこと。</p>	<p>※ 管布設工と舗装工は、工区分けし、管理測点毎にNo.10～No.34 までを1つにまとめて整理する。 ただし、監督員が整理方法を別に指示する場合は、その指示に従うこと。</p>																								
<table border="1"> <tr> <td>No. ○ 消火栓連絡工 ○状況 ○完了</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>廃止管充填状況 充填材作成状況 硬化後確認状況</td> </tr> <tr> <td>No. ○ 仮設箇所 ○状況</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>○給水管連絡工 ○宅 ○状況 ○完了</td> </tr> <tr> <td>No. ○ 撤去箇所 ○状況</td> <td>37</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No. ○ 消火栓連絡工 ○状況 ○完了	35	38	廃止管充填状況 充填材作成状況 硬化後確認状況	No. ○ 仮設箇所 ○状況	36	39	○給水管連絡工 ○宅 ○状況 ○完了	No. ○ 撤去箇所 ○状況	37			<table border="1"> <tr> <td>No. ○ 消火栓連絡工 ○状況 ○完了</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>廃止管充填状況 施工前、後袋数確認状況 充填剤作成状況 比重値、70-値測定状況 硬化後確認状況</td> </tr> <tr> <td>No. ○ 仮設箇所 ○状況</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>○給水管連絡工 ○宅 ○状況 ○完了</td> </tr> <tr> <td>No. ○ 撤去箇所 ○状況</td> <td>37</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No. ○ 消火栓連絡工 ○状況 ○完了	35	38	廃止管充填状況 施工前、後袋数確認状況 充填剤作成状況 比重値、70-値測定状況 硬化後確認状況	No. ○ 仮設箇所 ○状況	36	39	○給水管連絡工 ○宅 ○状況 ○完了	No. ○ 撤去箇所 ○状況	37		
No. ○ 消火栓連絡工 ○状況 ○完了	35	38	廃止管充填状況 充填材作成状況 硬化後確認状況																						
No. ○ 仮設箇所 ○状況	36	39	○給水管連絡工 ○宅 ○状況 ○完了																						
No. ○ 撤去箇所 ○状況	37																								
No. ○ 消火栓連絡工 ○状況 ○完了	35	38	廃止管充填状況 施工前、後袋数確認状況 充填剤作成状況 比重値、70-値測定状況 硬化後確認状況																						
No. ○ 仮設箇所 ○状況	36	39	○給水管連絡工 ○宅 ○状況 ○完了																						
No. ○ 撤去箇所 ○状況	37																								
<p>(1) 消火栓、給水管連絡工は、工事記録写真撮影一覧表に従い、管布設工と同じ要領で撮影し整理すること。 (2) その他の施工については、説明欄に施工区分を明示し工事記録写真撮影一覧表に従い工事着工前、工事完成、作業の順序に従って管布設工と同じ要領で撮影し整理すること。</p>	<p>(1) 消火栓、給水管連絡工は、工事記録写真撮影一覧表に従い、管布設工と同じ要領で撮影し整理すること。 (2) その他の施工については、説明欄に施工区分を明示し工事記録写真撮影一覧表に従い工事着工前、工事完成、作業の順序に従って管布設工と同じ要領で撮影し整理すること。</p>																								

改訂案	現 行
<p>P62</p> <p style="text-align: center;">9 管路等の水圧試験要領</p> <p>1 管路等の水圧試験</p> <p>(1) 作業手順および試験方法は、次のとおりとする。</p> <p>ア 充水（排気状態を確認しながら徐々に充水を行う）</p> <p>イ エアー抜き（<b>固定止水栓又は空気弁等</b>を開放状態にしておく）</p> <p>ウ 加圧（水圧0.75MPaまで加圧する）</p> <p>エ 水圧試験（水圧0.75MPaで6時間放置し、6時間後の圧力値を計測する）</p> <p style="padding-left: 20px;">P6：6時間後の実測圧力</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(2) 試験水圧に加圧後は、自記録水圧計にて管理する。</p> <p>(3) 合否の基準は、次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;"><math>P_6 \geq 0.8 \times P</math></p> <p style="padding-left: 20px;">P：試験水圧（MPa）</p> <p style="padding-left: 20px;">P<sub>6</sub>：6時間後の実測圧（MPa）</p> <p>(4) 水圧試験状況を写真撮影し、完成図書として提出すること。</p> <p>(5) 試験終了後、別に定める管路の水圧試験報告書の写し（PDF）を電子メールにより提出すること。また、その原本については、工事完成時、完成図書として提出すること。</p> <p>2 割T字管およびサドル付分水栓取付け後の水圧試験</p> <p>(1) 試験水圧および保持時間は、次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;">0.75 MPa 3分間</p> <p>(2) 合否の基準は、試験水圧を、所定時間保持すること。</p> <p>(3) 水圧試験状況を写真撮影し、完成図書として提出すること。</p>	<p style="text-align: center;">9 管路等の水圧試験要領</p> <p>1 管路等の水圧試験</p> <p>(1) 作業手順および試験方法は、次のとおりとする。</p> <p>ア 充水（排気状態を確認しながら徐々に充水を行う）</p> <p>イ エアー抜き（<b>空気弁</b>を開放状態にしておく）</p> <p>ウ 加圧（水圧0.75MPaまで加圧する）</p> <p>エ 水圧試験（水圧0.75MPaで6時間放置し、6時間後の圧力値を計測する）</p> <p style="padding-left: 20px;">P6：6時間後の実測圧力</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(2) 試験水圧に加圧後は、自記録水圧計にて管理する。</p> <p>(3) 合否の基準は、次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;"><math>P_6 \geq 0.8 \times P</math></p> <p style="padding-left: 20px;">P：試験水圧（MPa）</p> <p style="padding-left: 20px;">P<sub>6</sub>：6時間後の実測圧（MPa）</p> <p>(4) 水圧試験状況を写真撮影し、完成図書として提出すること。</p> <p>(5) 試験終了後、別に定める管路の水圧試験報告書の写し（PDF）を電子メールにより提出すること。また、その原本については、工事完成時、完成図書として提出すること。</p> <p>2 割T字管およびサドル付分水栓取付け後の水圧試験</p> <p>(1) 試験水圧および保持時間は、次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;">0.75 MPa 3分間</p> <p>(2) 合否の基準は、試験水圧を、所定時間保持すること。</p> <p>(3) 水圧試験状況を写真撮影し、完成図書として提出すること。</p>



改訂案	現 行
<p>P105</p> <p>工事標示板のイラスト部に表示する標語</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>配水管整備工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、濁り水を無くし地震に強くするための工事です。</li> <li>この水道工事は、水の出を良くし、水漏れを無くするための工事です。</li> </ul> </li> <li>配水管移設工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、〇〇工事を行うための工事です。</li> </ul> <p>例 ①下水道工事 ②道路工事 ③消火栓工事 ④電線共同溝設置工事 ⑤河川改修工事 など</p> </li> </ol> <p>※ 工事標示板上記のPR標語をイラスト入りで水道工事のPRをする。 赤文字は大きく目立つようにし、濁り・漏れには、ふりがなをする。 イラストについては、例であり特に定めない。</p> <div data-bbox="324 662 918 1069"> <p>例</p> <p>にごみず この水道工事は、濁り水 な じしん つよ を無くし地震に強く するための工事です。</p> </div>	<p>工事標示板のイラスト部に表示する標語</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>老朽管整備事業 配水管整備工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、濁り水を無くし地震に強くするための工事です。</li> </ul> </li> <li>配水管布設工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、濁り水を無くし水の出を良くするための工事です。</li> </ul> </li> <li>配水管布設替工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、水の出を良くし、水漏れを無くするための工事です。</li> </ul> </li> <li>配水管布設及び布設替工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、水の出を良くし、水漏れや濁り水を無くするための工事です。</li> </ul> </li> <li>配水管移設工事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>この水道工事は、〇〇工事を行うための工事です。</li> </ul> <p>例 ①下水道工事 ②道路工事 ③消火栓工事 ④電線共同溝設置工事 ⑤河川改修工事 など</p> </li> </ol> <p>※ 工事標示板上記のPR標語をイラスト入りで水道工事のPRをする。 赤文字は大きく目立つようにし、濁り・漏れには、ふりがなをする。 イラストについては、例であり特に定めない。</p> <div data-bbox="1232 821 1825 1228"> <p>例</p> <p>にごみず この水道工事は、濁り水 な じしん つよ を無くし地震に強く するための工事です。</p> </div>

P106

改訂案

工事標示板

## 水道工事中

工事名 ○○○○線配水管○○工事  
 区 間 ○○○○地内  
 口径 ○○○mm  
 延長 ○○○.○m  
 期 間 ○○年○○月○○日～ ○○年○○月○○日  
 施 工 ○○会社 ○○○○  
 現場代理人 ○○○○ Tel. ○○○-○○○○



この水道工事は、濁り水  
 を無くし地震に強く  
 するための工事です。

発注者 秋田市上下水道事業管理者  
 担 当 水道建設課 ○○係 Tel.823-8435

現 行

工事標示板

## 水道工事中

工事名 ○○○○事業  
 ○○○○線配水管○○工事  
 区 間 ○○○○地内  
 口径 ○○○mm  
 延長 ○○○.○m  
 期 間 ○○年○○月○○日～ ○○年○○月○○日  
 施 工 ○○会社 ○○○○  
 現場代理人 ○○○○ Tel. ○○○-○○○○



この水道工事は、濁り水  
 を無くし地震に強く  
 するための工事です。

発注者 秋田市上下水道事業管理者  
 担 当 水道建設課 ○○係 Tel.823-8435

改訂案

現行

P107

分割形

工事標示板

水道工事中

工事名

〇〇〇〇線配水管〇〇工事

区 間

〇〇〇〇〇地内  
口径 〇〇〇mm  
延長 〇〇〇. 〇m

期 間

自 〇〇年〇〇月〇〇日  
至 〇〇年〇〇月〇〇日

施 工

〇〇〇〇〇会社  
現場代理人 〇〇〇〇  
Tel. 〇〇〇-〇〇〇〇

発注者 秋田市上下水道事業管理者  
担 当 水道建設課 〇〇係  
Tel.823-8435

水道工事中

この水道工事は、<sup>にごみず</sup>濁り水  
<sup>な</sup>を無くし<sup>じしん</sup>地震に<sup>つよ</sup>強くす  
<sup>こうじ</sup>るための工事です。



発注者 秋田市上下水道事業管理者  
担 当 水道建設課 〇〇係  
Tel.823-8435

分割形

工事標示板

水道工事中

工事名

〇〇〇〇事業  
〇〇〇〇線配水管〇〇工事

区 間

〇〇〇〇〇地内  
口径 〇〇〇mm  
延長 〇〇〇. 〇m

期 間

自 〇〇年〇〇月〇〇日  
至 〇〇年〇〇月〇〇日

施 工

〇〇〇〇〇会社  
現場代理人 〇〇〇〇  
Tel. 〇〇〇-〇〇〇〇

発注者 秋田市上下水道事業管理者  
担 当 水道建設課 〇〇係  
Tel.823-8435

水道工事中

この水道工事は、<sup>にごみず</sup>濁り水  
<sup>な</sup>を無くし<sup>じしん</sup>地震に<sup>つよ</sup>強くす  
<sup>こうじ</sup>るための工事です。



発注者 秋田市上下水道事業管理者  
担 当 水道建設課 〇〇係  
Tel.823-8435